

アイザワ証券グループ株式会社

2025年3月期

決算説明資料

2025年4月

2025年3月期振り返り

- 2024年4月に株主還元の強化の一環として、2025年3月期から2028年3月期までの間、総額200億円以上の株主還元を実施し、うち約100億円を特別配当として実施する方針を発表
- 証券事業の変革に経営資源を集中し、ストック商品（投資信託とラップ商品）の積み上げを加速
- スtock商品の預り資産は4,000億円を超え、過去最高
- 金融機関において連携をこれまで以上に進めた結果、仲介先のお客さまの預り資産が増加
- 年度を通じてストック商品積み上げを優先した事もあり、証券事業全体の収益は伸び悩んだ
- 証券事業の改革を徹底するため、2月に引受業務取り止めの方針を発表
- 投資事業において、投資資産の売却による利益に加えて、投資先ファンドによる収益を計上
- 運用事業では運用資産残高の増加に努めたものの、目標未達成

社長メッセージ

本年度は中期経営計画の最終年でした。KPIに掲げたストック商品の積上げと固定費カバー率の向上については一定の成果を収める事ができましたが、ROE 8%は未達で終わりました。

ストック中心の収益構造への転換は、安定的にROE 8%を獲得するための絶対条件ですが、未だに道半ばです。来期以降の新中期経営計画の中で徹底して進めます。

投資事業が好調 営業収益、利益ともに増加

単位：百万円

	24年3月期	25年3月期	前年同期比
営業収益	18,980	20,588	+8.5%
純営業収益	18,191	20,022	+10.1%
営業利益	1,159	1,886	+62.7%
経常利益	1,941	2,571	+32.4%
税引前利益	4,325	4,650	+7.5%
親会社株主に帰属する純利益	2,975	3,172	+6.6%

▶ ハイライト

第4四半期（会計期間）の営業収益は前四半期（2025年3月期第3Q）比5.4%減の53億72百万円、営業利益は同43.4%減の5億70百万円、経常利益は同38.3%減の7億29百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同66.6%減の4億12百万円となりました。2025年3月期の1株当たり純資産（BPS）は1,433.95円となりました。

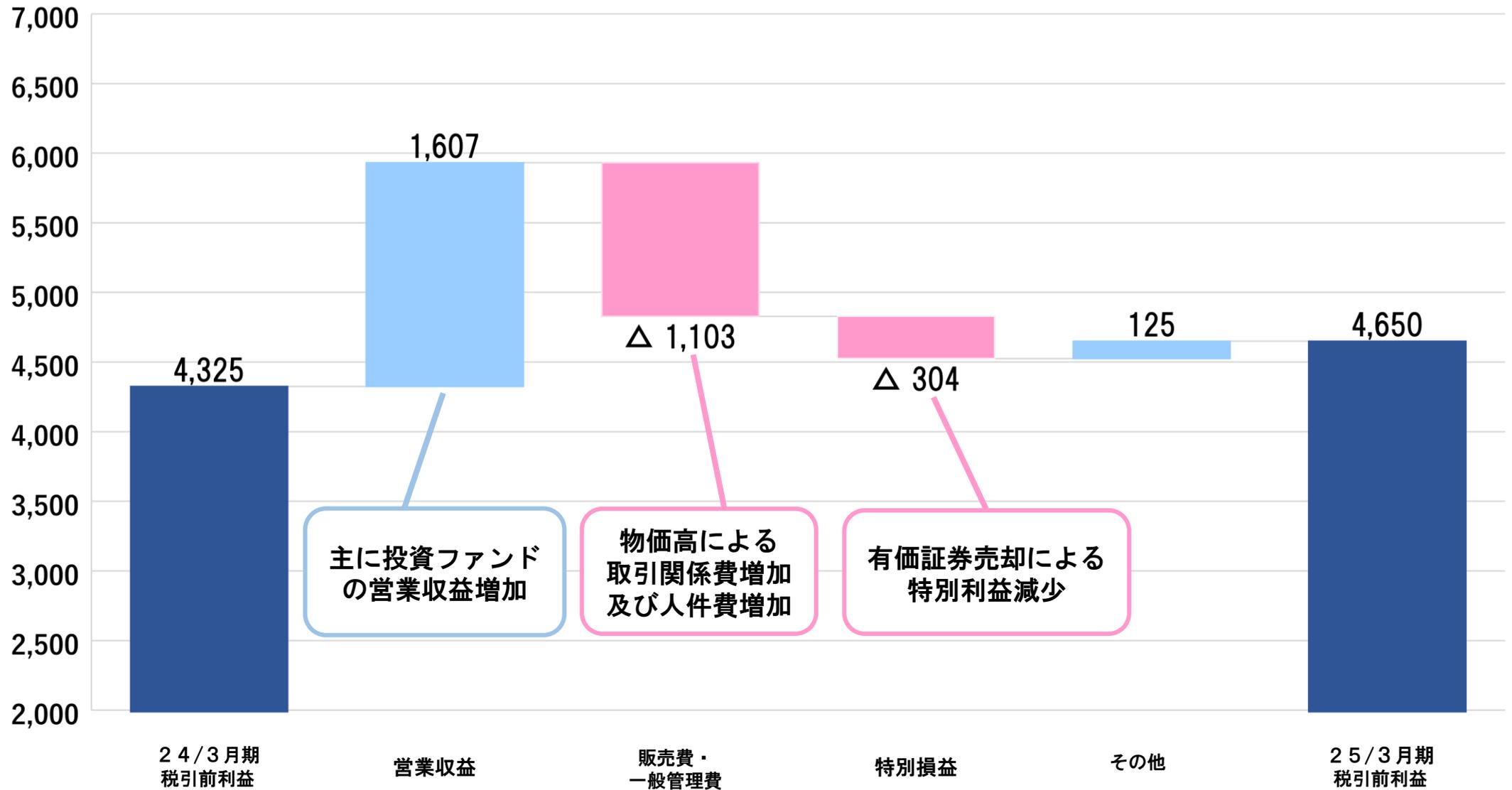
▶ 決算概要

	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 4Q	24/3期4Q比 増減率	25/3期3Q比 増減率	24/3期 累計	25/3期 累計	前年同期比 増減率
営業収益	5,507	4,953	4,580	5,681	5,372	△2.4%	△5.4%	18,980	20,588	8.5%
純営業収益	5,277	4,872	4,354	5,627	5,167	△2.1%	△8.2%	18,191	20,022	10.1%
販売費・一般管理費	4,632	4,524	4,396	4,618	4,597	△0.8%	△0.5%	17,031	18,135	6.5%
営業利益又は営業損失	645	348	△42	1,009	570	△11.5%	△43.4%	1,159	1,886	62.7%
経常利益	832	612	46	1,182	729	△12.3%	△38.3%	1,941	2,571	32.4%
税引前利益	2,687	1,051	1,066	1,776	756	△71.9%	△57.4%	4,325	4,650	7.5%
親会社株主に帰属する 純利益	1,840	815	711	1,233	412	△77.6%	△66.6%	2,975	3,172	6.6%
総資産	124,119	123,128	118,622	129,891	109,529	△11.8%	△15.7%	-	-	-
純資産	58,657	48,067	47,492	47,573	47,599	△18.9%	0.1%	-	-	-
EPS(円)	49.05	24.33	22.88	39.72	13.28	-	-	79.39	※100.20	-
BPS(円)	1,498.42	1,450.96	1,427.11	1,434.09	1,433.95	-	-	-	-	-

※2025年3月期4Qに自己株式の消却を行ったため四半期ごとのEPSの合計が通期累計と相違します。

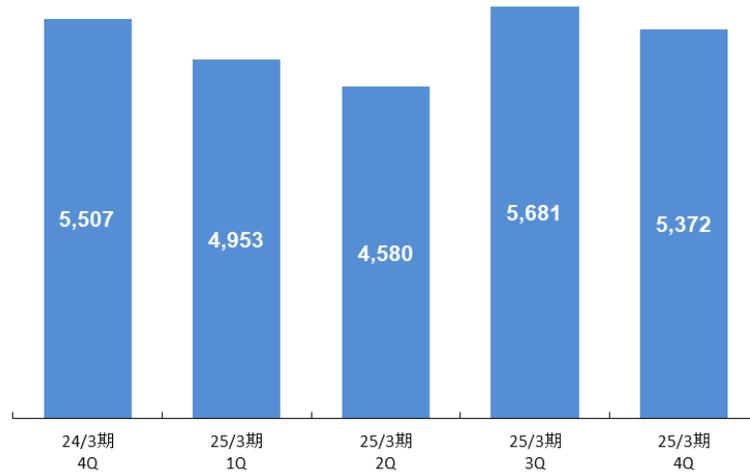


(百万円)



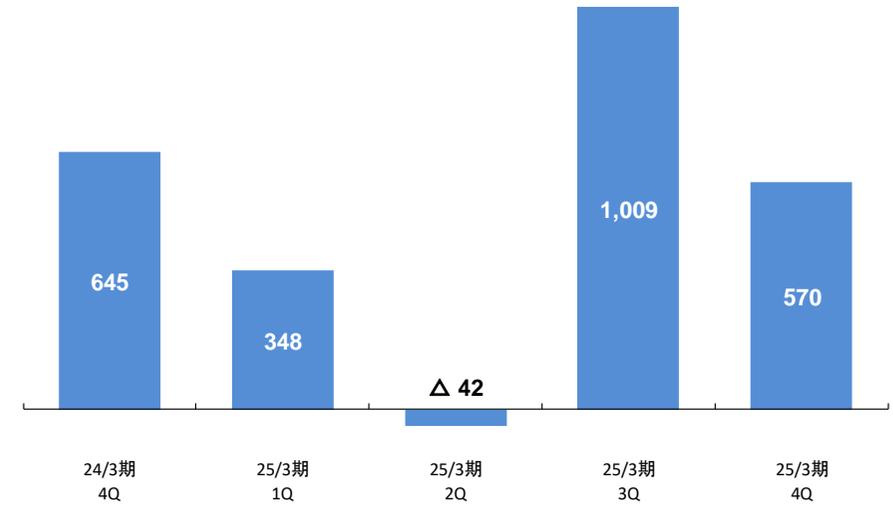
営業収益の推移

(百万円)



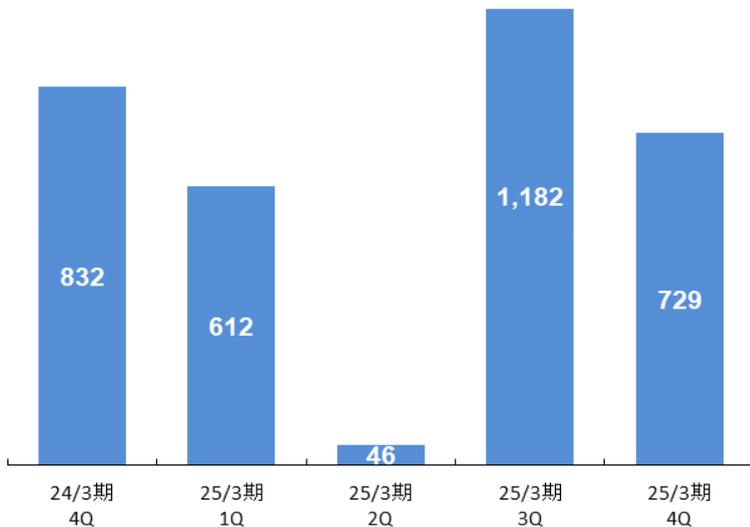
営業利益の推移

(百万円)



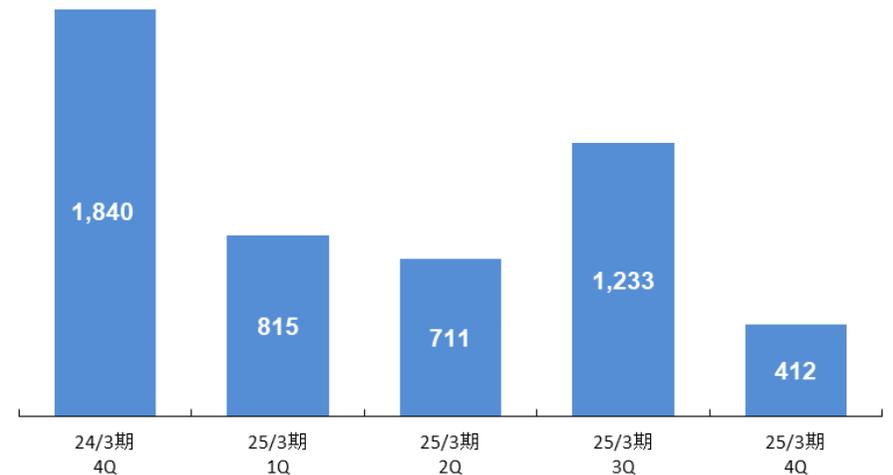
経常利益の推移

(百万円)



純利益の推移

(百万円)



証券事業

お客様の資産形成をサポートするため、資産運用コンサルティング等を行う

	(百万円)	前年同期比
営業収益	17,872	△0.4%
税引前利益	362	△75.4%

- ブローカレッジ中心のビジネスモデルの変革と、市況環境の悪化や物価高によるコスト増により利益は減少

≡ アイザワ証券



LIFE DESIGN PARTNERS CO., LTD.



投資事業

有価証券、不動産、成長企業に対して自己投資を行う

	(百万円)	前年同期比
営業収益	2,407	+192.9%
税引前利益	4,081	+54.1%

- 投資先のファンドからの収益増加
- 投資ポートフォリオの入替により投資有価証券売却益計上

 アイザワ・インベストメンツ株式会社

運用事業

機関投資家を中心にオルタナティブ運用等の運用サービスを提供

	(百万円)	前年同期比
営業収益	423	+55.7%
税引前利益	△131	—

- 運用するファンドの経費を運用事業にて計上

 あいざわアセットマネジメント
AIZAWA ASSET MANAGEMENT



当社は、自己株式取得や特別配当により、資本を適正な水準に圧縮し効率的なバランスシートの構築を目指しております。また、社債の発行を通じて、資本効率重視の財務戦略を実行しております。

▶ 貸借対照表（抜粋）

	23/3期 期末	24/3期 期末	25/3期 期末	前年比
資産の部				
流動資産	63,533	84,030	70,047	△16.6%
現金・預金	14,142	23,991	14,405	△40.0%
預託金	20,908	27,632	24,783	△10.3%
営業投資有価証券	10,521	11,291	11,230	△0.5%
トレーディング商品	207	232	347	49.2%
約定見返勘定	615	1,326	1,294	△2.4%
信用取引資産	15,692	17,209	15,478	△10.1%
信用取引貸付金	15,314	16,870	15,190	△10.0%
立替金	56	99	521	424.0%
短期差入保証金	-	-	-	-
その他の流動資産	1,389	2,245	1,985	△11.6%
固定資産	35,291	40,085	39,481	△1.5%
有形固定資産	9,936	10,850	11,211	3.3%
賃貸不動産	8,245	9,165	9,259	1.0%
無形固定資産	100	33	32	△3.8%
投資その他の資産	25,253	29,201	28,237	△3.3%
投資有価証券	23,439	26,066	25,208	△3.3%
貸倒引当金	△ 3	△ 11	△ 8	-
繰延資産	10	3	-	-
創立費	0	-	-	-
開業費	9	3	-	-
資産合計	98,835	124,119	109,529	△11.8%

(百万円)

	23/3期 期末	24/3期 期末	25/3期 期末	前年比
負債の部				
流動負債	34,365	52,952	50,305	△5.0%
トレーディング商品	90	-	24	-
信用取引負債	1,516	7,312	4,722	△35.4%
信用取引借入金	726	6,505	4,173	△35.9%
有価証券担保借入金	2,927	1,401	482	△65.6%
預り金	16,760	28,808	23,291	△19.1%
顧客からの預り金	14,359	21,757	18,927	△13.0%
その他の預り金	2,400	7,050	4,363	△38.1%
受入保証金	5,099	5,639	4,350	△22.9%
短期借入金	6,445	6,045	8,830	46.1%
短期社債	-	-	6,000	-
固定負債	10,293	12,349	11,463	△7.2%
長期借入金	5,588	6,347	6,001	△5.4%
繰延税金負債	4,318	5,572	4,994	△10.4%
特別法上の準備金	146	160	160	0.0%
金融商品取引責任準備金	146	160	160	0.0%
負債合計	44,804	65,462	61,929	△5.4%
純資産の部				
株主資本合計	44,162	45,513	35,557	△21.9%
うち自己株式	△ 5,471	△ 6,179	△ 8,508	-
その他の包括利益累計額	6,834	10,141	9,007	△11.2%
その他有価証券評価差額金	6,579	9,337	7,968	△14.7%
非支配株主持分	3,033	3,002	3,035	1.1%
純資産合計	54,030	58,657	47,599	△18.9%
負債・純資産合計	98,835	124,119	109,529	△11.8%

- 中期経営計画（Define Next 100～もっとお客様のために～）では、各種施策を通して中長期的な企業価値及びPBRの向上を目指して取り組んでまいりました。
- 中期経営計画に基づく各種施策により、中期経営計画で掲げたKPIの多数の項目について進展がみられたものの、目標達成には至らなかった（次ページご参照）。特にROEは8%を下回っており、より一層の企業価値向上への取組強化が求められていると認識しております。
- 一方で、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の一つである株主還元強化等の発表により、2025年3月期末のPBRは1.03倍となりました。

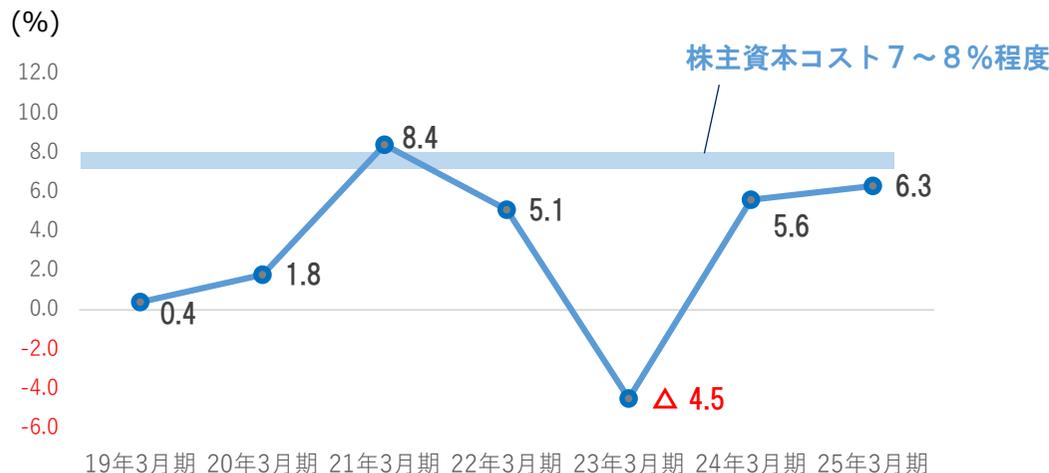
▶ 当社が認識する資本コスト

25/3末の株主資本コスト **7～8%程度と推定***
 *CAPMによる計算

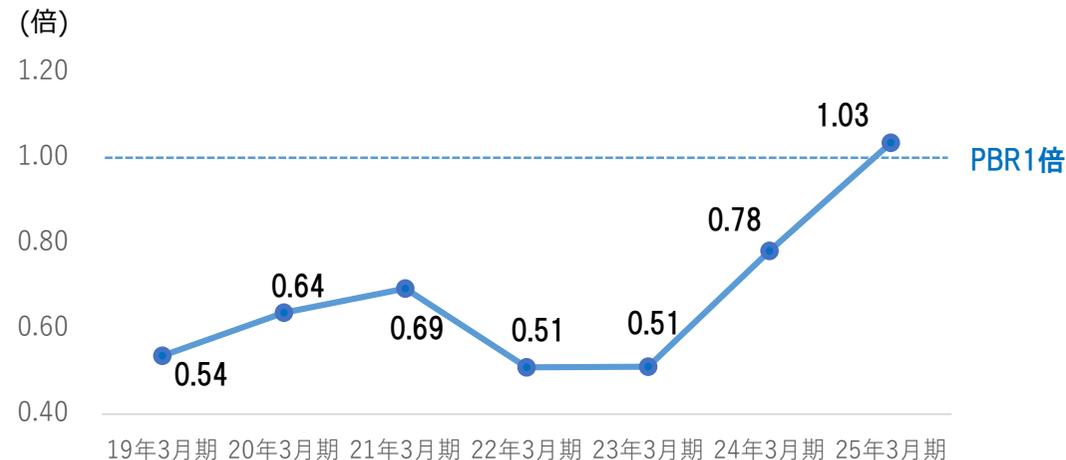
* 株主資本コストのCAPM計算式に用いた変数

リスクフリーレート： 10年国債直近利回り
 マーケットリスクプレミアム： 配当込TOPIXの過去25年間の年次換算
 (2008リーマンショック除く)
 β値： 対TOPIX修正ベータ

▶ 当社ROEの推移



▶ 当社PBRの推移



- 中期経営計画において、「徹底的なお客様目線」、「ブローカレッジビジネスから資産形成ビジネスへ」、「プラットフォームビジネスの拡大」、「グループ連携の強化」等の基本方針に沿った各種施策を実施しました。しかしながら、直近の相場変動の影響もあり、中期経営計画のKPIは未達となりました。この結果を真摯に受け止め、改めて市況に左右されない事業構造への転換を推進してまいります。
- 資本コストや株価を意識した経営を徹底するべく、資本コストの低減、期待成長率の向上をさらに押し進める必要があると認識しています。

▶ 中期経営計画のKPI

KPI	目標 (2025/3末)	結果 (2025/3末)
ROE	8%以上	6.3%
固定費カバー率 (証券事業)	50%以上	38.5% (25年3月単月) (※25年3月期累計平均 43.4%)
預り資産 (証券事業)	2兆円以上	1兆9,661億円
投資資産残高 (投資事業)	450億円	363億円
セカンダリーファンド運用残高 (運用事業)	100億円	71億円

- 当社は、企業価値向上とそれを通じたPBR改善に向け、株主還元の強化に加え事業運営面でも「ROE向上」、「資本コスト低減」、「期待成長率の向上」の3点を意識し、具体的な取組み（次ページ以降ご参照）を引き続き強化していきます。
 1. ROE向上 中期的な当期利益向上、事業別リスク・リターンの向上、適切な株主還元の継続
 2. 資本コスト低減 グループ全体の収益水準・利益水準の安定化、IR活動の充実
 3. 期待成長率の向上 証券事業の改革強化、グループ事業の収益性向上による期待成長率の向上

▶ 具体的な取組方針

成長戦略

金融商品取引事業
 (証券事業) の変革加速

投資・運用事業の強化

プラットフォームビジネスの強化

人的資本経営へ向けた取組強化

財務戦略

株主還元の強化

財務レバレッジの活用

資本配賦・資本収益性管理
 の整備・強化

IR/サステナビリティ

株主・投資家との対話の増加

IRコンテンツの充実

サステナビリティへの取組み



企業価値の向上 / 株価評価の向上

- 金融商品取引事業（証券事業）、投資事業、運用事業、金融商品仲介事業について、成長戦略に取り組んでいきます。
 1. 金融商品取引事業（証券事業）の変革加速
 2. 投資・運用事業の強化
 3. プラットフォームビジネスの強化
 4. 人的資本経営へ向けた取組強化

金融商品取引事業（証券事業）の変革加速

- 「資産運用・資産形成の伴走者」（投資運用助言・フォローアップのプロフェッショナル）を目指す
- 自社ファイナンシャルアドバイザー、金融商品仲介業者（IFA）、地域金融機関の3つのチャンネルを併用強化
- 「人によるコンサルティング」を最大の強みとして提供し、ゴールベースアプローチ型営業と地域密着を徹底強化
- 「事業推進本部」を新設、営業企画・商品企画、システム・ツール開発、地域密着施策、ブランディング等を一括して推進する体制とし、証券事業の預り資産連動型収益中心の収益構造への転換を加速

投資・運用事業の強化

- アイザワ・インベストメンツとあいざわアセットマネジメントのガバナンス上の独立性は維持しつつ、投資・運用・リスク管理等に関する両社リソースの統合を開始
- 投資・運用両事業全体のリスク・リターンの向上を目指す

プラットフォームビジネスの強化

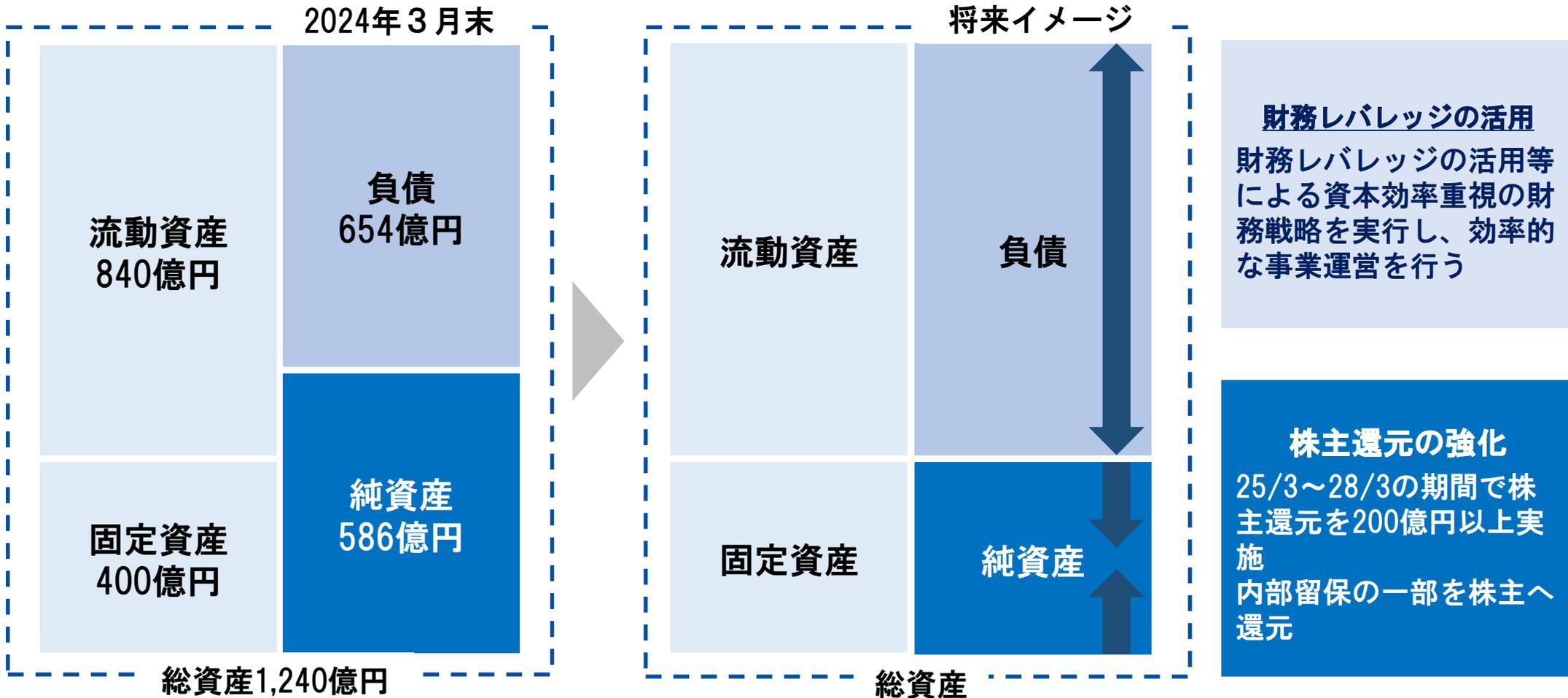
- IFA事業の中期事業計画を策定、システム投資と人材育成をエンジンに中長期で預り資産5,000億円規模のビジネスを目指す
- 金融機関連携RM担当役員を設置する等連携体制を大幅に強化、佐賀共栄銀行との会社分割（簡易吸収分割）契約締結
他にも多くの地域金融機関との連携を協議中

人的資本経営へ向けた取組強化

- SDGs目標8「働きがいも経済成長も」に沿った各種施策の実施
 - ①経営戦略とのつながりを重視するとともに社員の自律的な成長を支援するCDP（キャリア・デベロップメント・プログラム）を推進、個人の適性・希望を考慮し、能力開発やキャリア開発をサポート
 - ②ダイバーシティ推進の観点から女性キャリアステップアップ研修の実施
 - ③社員の会社への愛着度（エンゲージメント）を重視し、定期的に全社員を対象とした調査を実施し、社員が生き生きと働ける環境整備を推進
 - ④社員の健康診断受診100%、人間ドック受診等を通じ、健康経営を推進

- 資金調達手段の多様化による財務安定性の向上を企図し、当社グループの将来の成長に必要な資金を機動的に調達することを目的として、2025年3月末時点で総額60億円の社債の発行を実施しました。
- 過大な純資産は持たず、適正水準まで圧縮するため、株主の皆様の一部内部留保を還元し、2025年3月期～2028年3月期までに株主還元を総額200億円以上実施する予定です。

▶ 連結貸借対照表



- 当社は、IR、サステナビリティに積極的に取り組み、地域と社会に貢献していきます。
 1. 株主・投資家との対話の増加
 2. IRコンテンツの充実
 3. サステナビリティへの取り組み

株主・投資家との対話の増加

- 当社は、株主・投資家との長期的な信頼関係を構築することが重要であると考え、一定の株数を保有する株主との対話を実施
- 株主との対話を通じて、認識された意見や課題について経営陣で共有し、中長期的な企業価値向上を目指す

IRコンテンツの充実

- 株主・投資家に分かりやすい開示資料を目指し、IRコンテンツを充実
- 英文開示をより一層充実し、決算短信や決算説明資料以外の個別開示資料についても英文開示を拡充

サステナビリティへの取り組み

- 気候変動に対する取り組みとして、TCFD提言に基づく情報開示の拡充、温室効果ガス排出量の削減に取り組む
- 地方自治体や教育機関、地域金融機関と連携し、金融教育を積極的に推進、中長期投資や分散投資の効果等の説明といった投資に関する基礎的な情報等を発信し、自らの資産形成を考える社会全体の金融リテラシー向上に貢献

引受業務取り止め方針について

アイザワ証券株式会社は、2028年3月末までに引受業務を取り止める方針について決議しました。

取り止めの理由

当社グループの証券事業においては、長期にわたるお客さまとご家族の「資産運用・資産形成の伴走者」になることを目指しております。お客さまのライフプラン・将来の夢・希望「ゴール」を実現するために、ゴールベースアプローチにより金融サービスのプロフェッショナルとしてお客さまとご家族に寄り添い続けてまいります。この度、このような証券事業のビジネスモデルを確立するためには経営資源を集中することが必要と判断し、証券事業における引受業務を取り止める方針を決定しました。

取り止める業務の内容

- ①有価証券の引受業務
- ②株式上場等に関するコンサルティング業務
- ③TOKYO PRO MarketにおけるJ-Adviser業務

今後の見通し

本件による連結業績への影響は軽微ではありますが、経営資源の最適化により、中長期的には当社グループの業績及び企業価値の向上に寄与するものと考えております。

東京都青梅市との包括連携協定の締結

アイザワ証券株式会社と青梅市は、双方の資源を有効に活用し、同市の一層の活性化および相互の発展に資することを目的として、包括連携協定を締結しました。

包括連携の経緯

アイザワ証券株式会社は、2017年に同市と「高齢者見守り支援ネットワーク事業協定」を締結し、認知症の方の見守りサポートを実施するなど、両者で地方創生・地域活性化に努めております。また、2019年には青梅信用金庫と包括的業務提携を行い、同金庫と協働して地方創生・地域活性化に努めてまいりました。具体的には、同金庫と協働した『コラボ金融授業』を地元教育機関へ無償提供する取組み等です。

このような経緯もあり、今般、幅広い分野で地域の皆さまに貢献することを目指し、青梅市との包括的な連携協定を締結することとなりました。

包括連携協定の内容

- (1) 市内企業の経営支援など産業振興と経済活性化に関する事項
- (2) 市民の資産運用支援に関する事項
- (3) 地域における就労促進に関する事項
- (4) 地域における教育支援および人財育成に関する事項
- (5) その他前条に規定する目的を達成するために必要な事項

参考データ

連結

▶ ハイライト

第4四半期（会計期間）のセグメント別営業収益内訳は、証券事業は前四半期（2025年3月期第3Q）比13.9%減の41億11百万円、投資事業は同55.2%増の11億83百万円、運用事業は同25.4%減の1億29百万円となりました。

▶ セグメント情報内訳

	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 4Q	24/3期4Q比 増減率	25/3期3Q比 増減率	24/3期 累計	25/3期 累計	前年同期比 増減率
セグメント別営業収益連結計	5,507	4,953	4,580	5,681	5,372	△2.4%	△5.4%	18,980	20,587	8.5%
証券事業	5,119	4,747	4,235	4,778	4,111	△19.7%	△13.9%	17,946	17,872	△0.4%
投資事業	320	170	290	762	1,183	269.4%	55.2%	822	2,407	192.9%
運用事業	94	51	68	173	129	38.1%	△25.4%	272	423	55.7%
その他調整	△26	△16	△13	△33	△52	-	-	△60	△115	-
セグメント別営業利益連結計	645	348	△42	1,009	570	△11.5%	△43.4%	1,159	1,886	62.7%
証券事業	636	325	△27	285	△327	-	-	1,521	255	△83.2%
投資事業	8	70	△113	667	915	-	37.1%	△221	1,539	-
運用事業	△39	△71	△65	53	△33	-	-	△214	△116	-
その他調整	40	23	164	3	17	△57.4%	439.4%	73	208	182.7%
セグメント別税引前利益連結計	2,687	1,051	1,066	1,776	756	△71.9%	△57.4%	4,325	4,650	7.5%
証券事業	635	355	△42	313	△264	-	-	1,473	362	△75.4%
投資事業	1,989	706	980	1,335	1,059	△46.7%	△20.7%	2,648	4,081	54.1%
運用事業	△43	△81	△61	39	△28	-	-	△201	△131	-
その他調整	106	70	189	87	△9	-	-	405	338	△16.6%

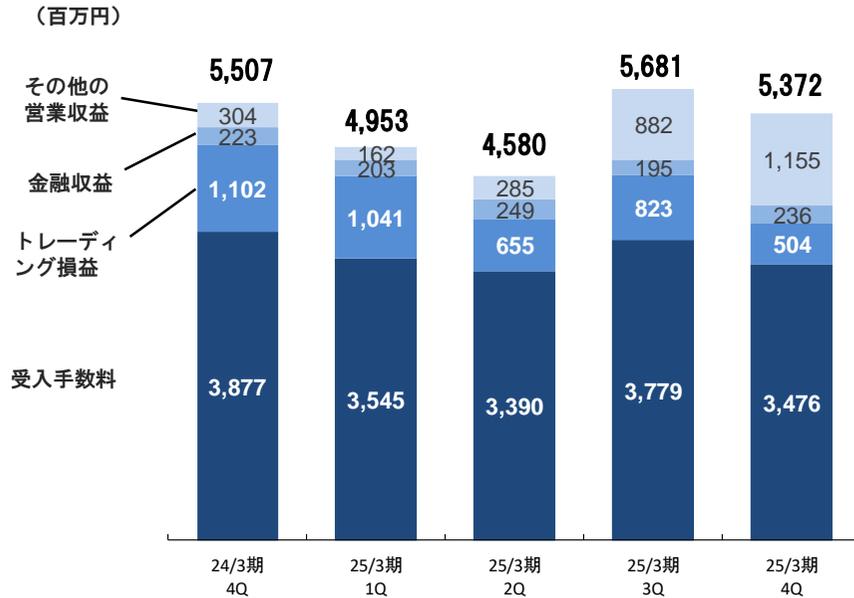
▶ ハイライト

第4四半期（会計期間）の受入手数料は、前四半期（2025年3月期第3Q）比8.0%減の34億76百万円となりました。
 トレーディング損益は同38.8%減の5億4百万円、金融収益は同20.9%増の2億36百万円となりました。
 その他の営業収益は、投資ファンドの営業収益計上により同31.0%増11億55百万円となりました。

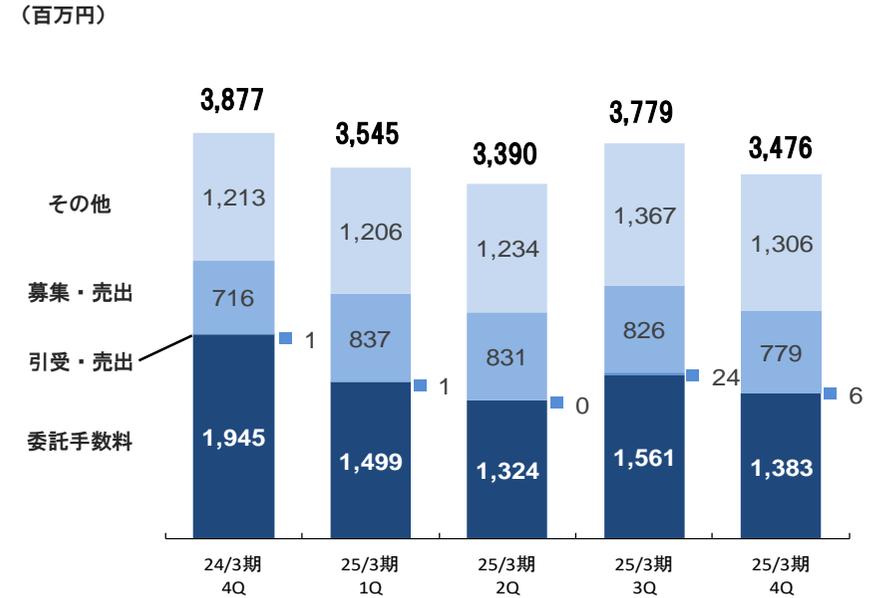
▶ 営業収益の内訳

	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 4Q	24/3期4Q比 増減率	25/3期3Q比 増減率	24/3期 累計	25/3期 累計	前年同期比 増減率
営業収益	5,507	4,953	4,580	5,681	5,372	△2.4%	△5.4%	18,980	20,588	8.5%
受入手数料	3,877	3,545	3,390	3,779	3,476	△10.4%	△8.0%	13,224	14,190	7.3%
委託手数料	1,945	1,499	1,324	1,561	1,383	△28.9%	△11.4%	6,735	5,769	△14.3%
引受・売出	1	1	0	24	6	301.4%	△73.5%	10	32	221.6%
募集・売出	716	837	831	826	779	8.8%	△5.7%	2,636	3,274	24.2%
その他	1,213	1,206	1,234	1,367	1,306	7.6%	△4.5%	3,842	5,114	33.1%
トレーディング損益	1,102	1,041	655	823	504	△54.3%	△38.8%	4,287	3,025	△29.4%
株券等	982	863	496	723	427	△56.5%	△40.9%	3,678	2,511	△31.7%
債券等	36	70	53	24	24	△34.7%	△3.5%	203	172	△15.0%
為替等	82	107	106	75	52	△36.7%	△30.3%	406	341	△16.0%
金融収益	223	203	249	195	236	6.0%	20.9%	677	885	30.6%
その他の営業収益	304	162	285	882	1,155	279.8%	31.0%	790	2,486	214.7%

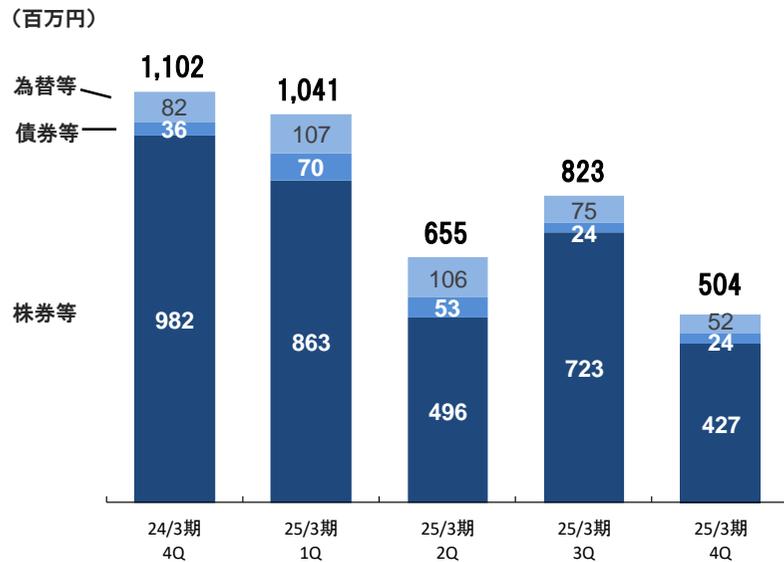
営業収益の内訳の推移



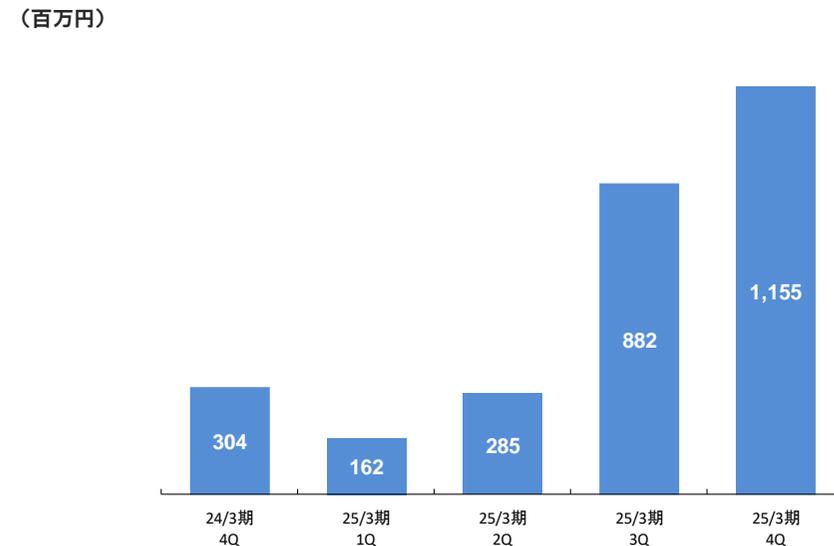
受入手数料の科目別内訳の推移



トレーディング損益の推移



その他の営業収益の推移



▶ ハイライト

預り資産連動型収益中心の収益構造への転換を推進しており、ストック商品の残高増加を図っています。
平均残高が増加したことにより投資信託の信託報酬は前四半期（2025年3月期第3Q）比4.4%増、前年同期比では61.2%増となっております。ラップ商品の収益は前四半期（2025年3月期第3Q）比27.8%減となりました。

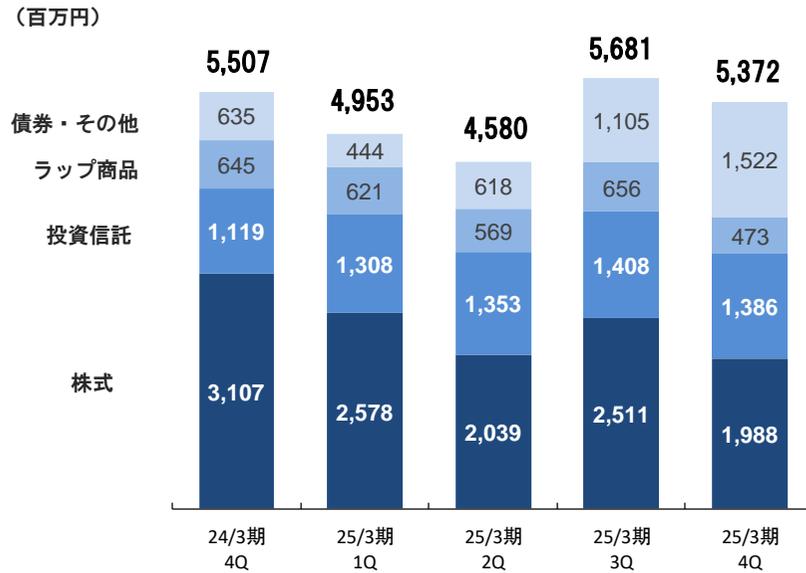
▶ 営業収益の商品別内訳

(百万円)

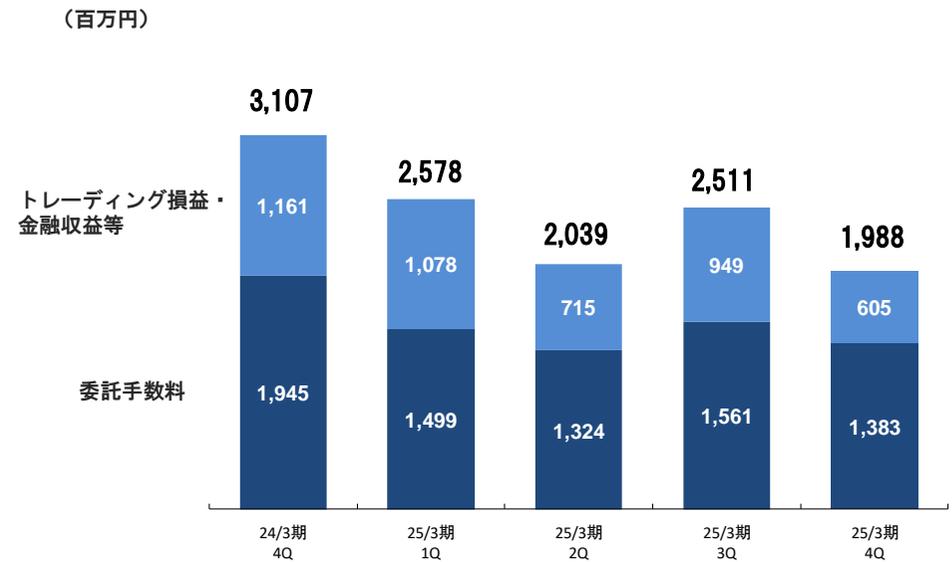
	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 4Q	24/3期4Q比 増減率	25/3期3Q比 増減率	24/3期 累計	25/3期 累計	前年同期比 増減率
営業収益	5,507	4,953	4,580	5,681	5,372	△2.4%	△5.4%	18,980	20,588	8.5%
株式	3,107	2,578	2,039	2,511	1,988	△36.0%	△20.8%	11,183	9,117	△18.5%
委託手数料	1,945	1,499	1,324	1,561	1,383	△28.9%	△11.4%	6,735	5,769	△14.3%
トレーディング損益・ 金融収益等	1,161	1,078	715	949	605	△47.9%	△36.3%	4,448	3,348	△24.7%
投資信託	1,119	1,308	1,353	1,408	1,386	23.9%	△1.5%	3,985	5,457	36.9%
募集手数料	716	837	831	826	779	8.8%	△5.7%	2,631	3,274	24.4%
信託報酬等	403	471	521	582	607	50.7%	4.4%	1,354	2,182	61.2%
ラップ商品	645	621	569	656	473	△26.6%	△27.8%	1,927	2,320	20.4%
固定報酬・信託報酬	269	288	291	287	284	5.4%	△1.3%	1,083	1,152	6.4%
成功報酬	376	332	277	368	189	△49.5%	△48.4%	844	1,168	38.4%
債券	38	72	55	27	26	△32.8%	△4.7%	210	181	△14.1%
不動産	123	124	127	123	123	△0.1%	△0.0%	449	497	10.8%
営業投資有価証券	180	37	158	759	1,032	471.0%	36.0%	339	1,988	486.0%
その他	292	210	278	196	340	16.5%	73.9%	884	1,025	16.0%



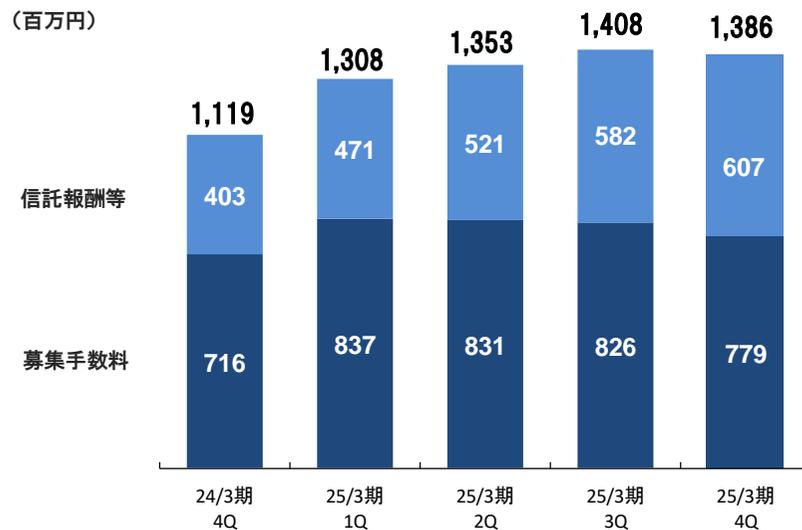
営業収益の商品別内訳の推移



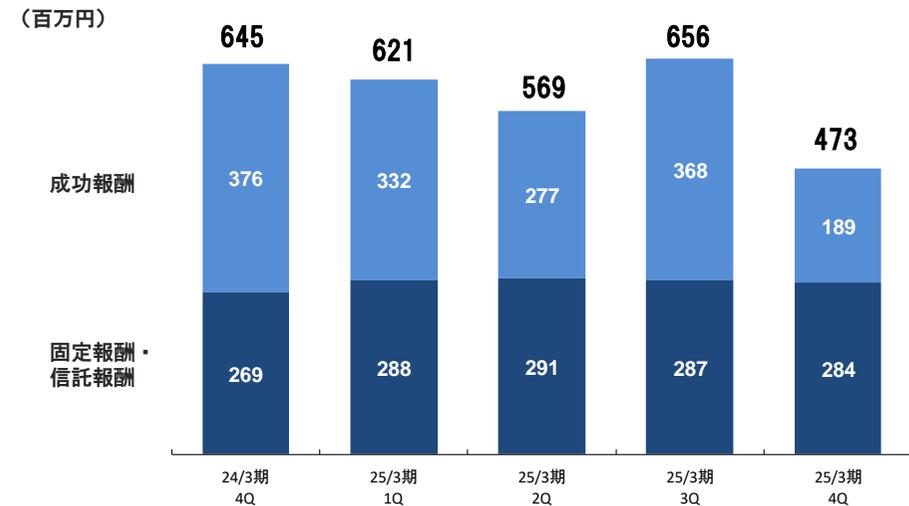
株式の内訳の推移



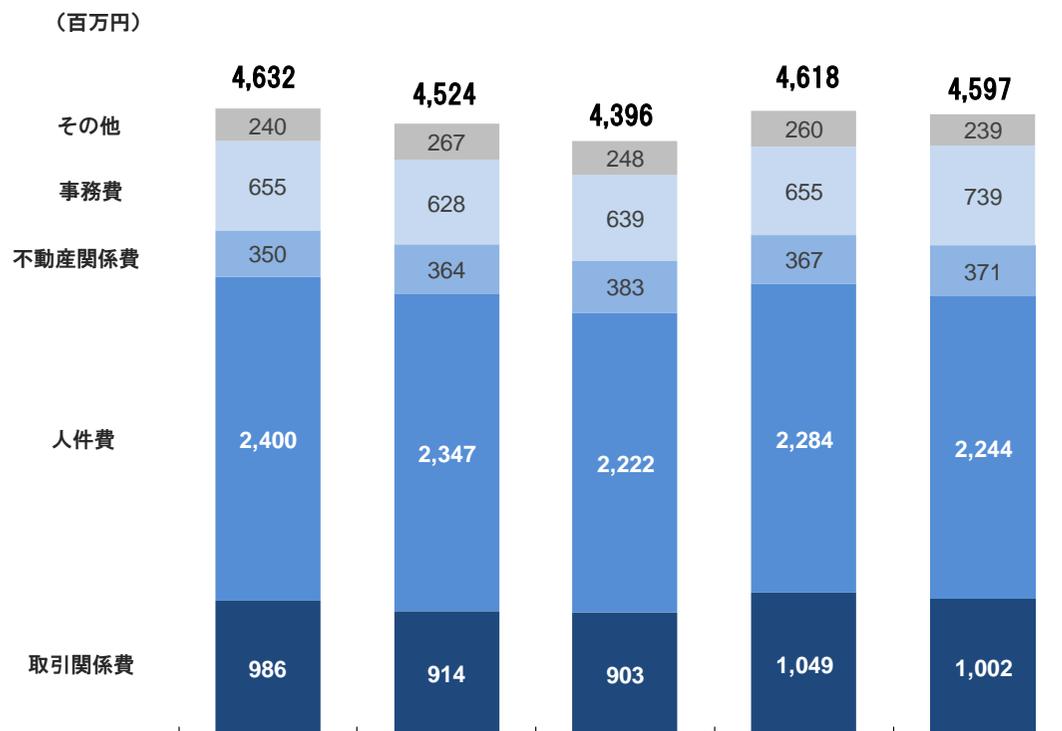
投資信託の内訳の推移



ラップ商品の内訳の推移



▶ 販売費・一般管理費の推移



▶ ハイライト

第4四半期（会計期間）の販売費・一般管理費は、前四半期（2025年3月期第3Q）比0.5%減の45億97百万円となりました。

販売費・一般管理費のうち、取引関係費は、同4.4%減の10億2百万円（前年同期比1.7%増）となりました。

通期累計の販売費・一般管理費は前年同期比6.5%増、プラットフォームビジネスの拡大による仲介手数料が増加し、取引関係費が前年同期比15.5%増となりました。

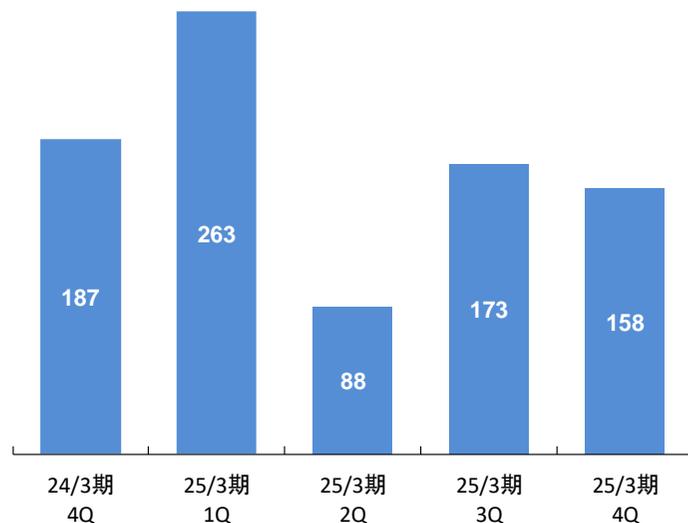
	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 4Q	24/3期4Q比 増減率	25/3期3Q比 増減率	24/3期 累計	25/3期 累計	前年同期比 増減率
販売費・一般管理費	4,632	4,524	4,396	4,618	4,597	△0.8%	△0.5%	17,031	18,135	6.5%
取引関係費	986	914	903	1,049	1,002	1.7%	△4.4%	3,350	3,869	15.5%
人件費	2,400	2,347	2,222	2,284	2,244	△6.5%	△1.7%	8,911	9,099	2.1%
不動産関係費	350	364	383	367	371	5.9%	0.9%	1,378	1,487	7.9%
事務費	655	628	639	655	739	12.8%	12.7%	2,414	2,663	10.3%
その他	240	267	248	260	239	△0.4%	△8.4%	977	1,016	4.0%
↳ (減価償却費)	64	62	70	65	69	8.8%	7.1%	216	268	24.2%

▶ ハイライト

第4四半期（会計期間）の営業外収益は前四半期（2025年3月期第3Q）比9.0%減の2億8百万円、営業外費用は同11.2%減の49百万円、差し引き営業外損益は同8.3%減の1億58百万円となりました。特別損益は同95.5%減の26百万円となりました。

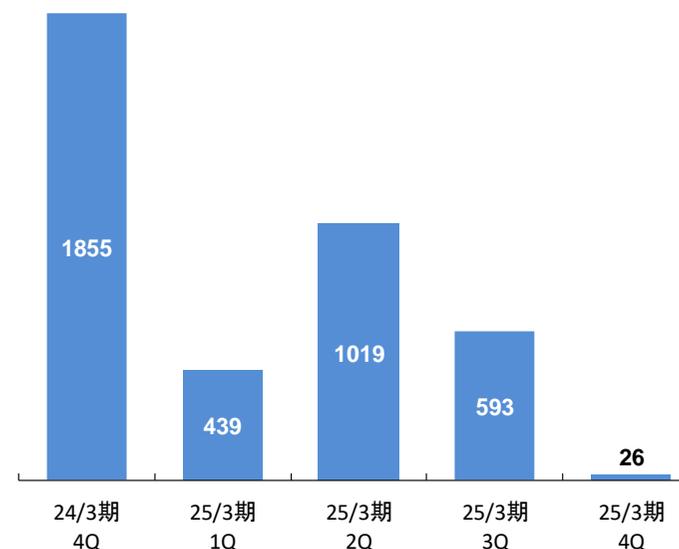
▶ 営業外損益の推移

(百万円)



▶ 特別損益の推移

(百万円)



	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 4Q	24/3期4Q比 増減率	25/3期3Q比 増減率	24/3期 累計	25/3期 累計	前年同期比 増減率
営業外損益	187	263	88	173	158	△15.2%	△8.3%	782	684	△12.5%
営業外収益	217	316	130	229	208	△4.3%	△9.0%	855	884	3.4%
営業外費用	30	52	41	56	49	61.9%	△11.2%	73	199	173.1%
特別損益	1,855	439	1,019	593	26	△98.5%	△95.5%	2,383	2,079	△12.8%
特別利益	2,006	695	1,029	593	26	△98.7%	△95.5%	2,565	2,345	△8.6%
特別損失	151	256	10	△0	△0	-	-	181	266	46.8%

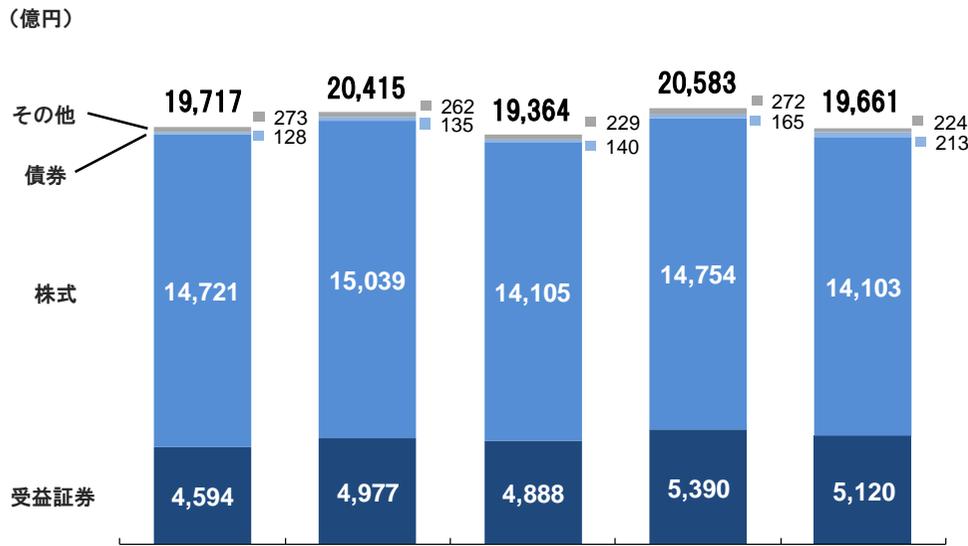
アイザワ証券

単体

▶ ハイライト

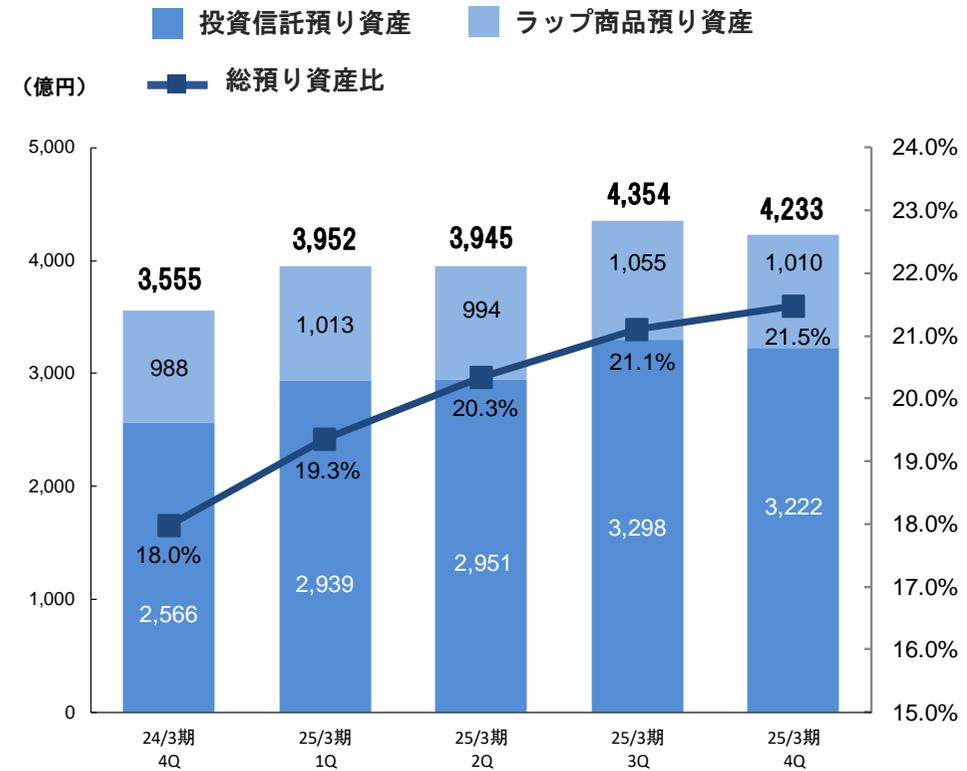
総預り資産は前四半期（2025年3月期第3Q）比4.5%減の1兆9,661億円となりました。
 ストック商品（投資信託とラップ商品の合計）は、同2.8%減の4,233億円となりました。

▶ 総預り資産の内訳と推移



	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 4Q	25/3期3Q比 増減率
総預り資産	19,717	20,415	19,364	20,583	19,661	△4.5%
受益証券	4,594	4,977	4,888	5,390	5,120	△5.0%
└ 投資信託	2,566	2,939	2,951	3,298	3,222	△2.3%
└ ラップ商品	988	1,013	994	1,055	1,010	△4.2%
株式	14,721	15,039	14,105	14,754	14,103	△4.4%
債券	128	135	140	165	213	28.6%
その他	273	262	229	272	224	△17.7%

▶ ストック商品の預り資産の推移



※ ストック商品は投資信託とラップ商品の合計
 ※ 投資信託は、MRF及び上場ETF、ファンドラップ、スマイルゴールを除く
 ※ ラップ商品は、投資一任運用サービス契約資産時価（詳細は次ページ参照）

▶ 契約資産と契約件数の推移

契約資産(時価)(百万円)、件数(件)

		24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 4Q	25/3期 3Q比 増減率
アイザワSMA スーパー ブルーラップ	契約資産 (時価)	29,628	30,943	30,123	32,226	31,042	△3.7%
	件数	1,186	1,272	1,337	1,350	1,364	1.0%
新規募集 停止 アイザワSMA ブルーラップ	契約資産 (時価)	1,792	1,763	1,636	1,692	1,488	△12.1%
	件数	153	146	144	140	130	△7.1%
新規募集 停止 アイザワ ファンドラップ	契約資産 (時価)	64,197	61,602	57,459	55,012	50,216	△8.7%
	件数	6,457	6,182	5,951	5,596	5,317	△5.0%
スマイルゴール	契約資産 (時価)	3,274	7,060	10,225	16,597	18,320	10.4%
	件数	463	944	1,426	2,172	2,553	17.5%
合計	契約資産 (時価)	98,892	101,370	99,445	105,529	101,066	△4.2%
	件数	8,259	8,544	8,858	9,258	9,364	1.1%

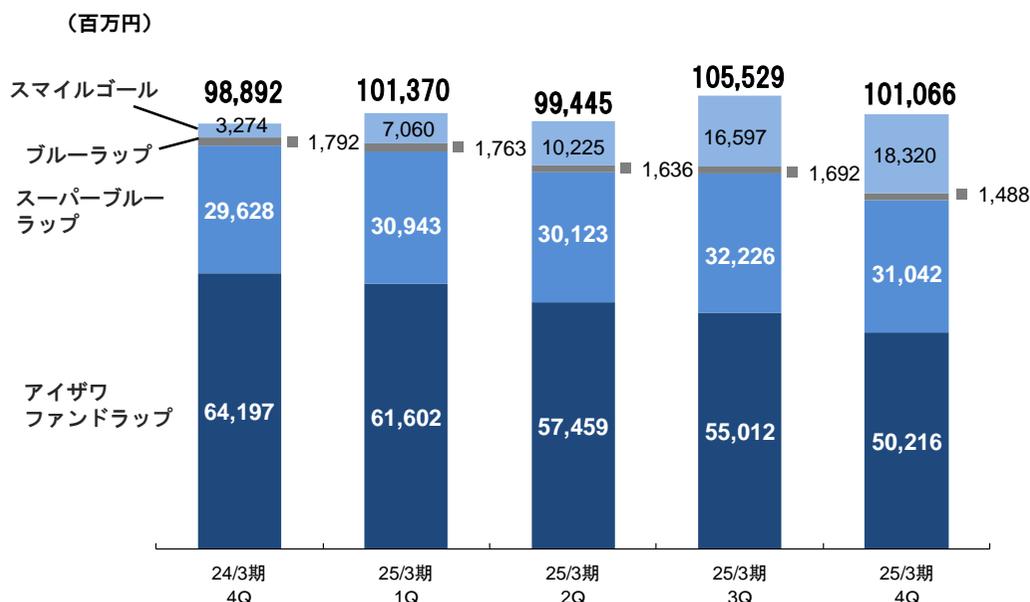
▶ ハイライト

資産形成ビジネスにおける戦略商品として、投資一任運用サービス（ラップ商品）に注力しており契約資産は合計で1,010億円、契約件数9,364件となりました（2025年3月末現在）。

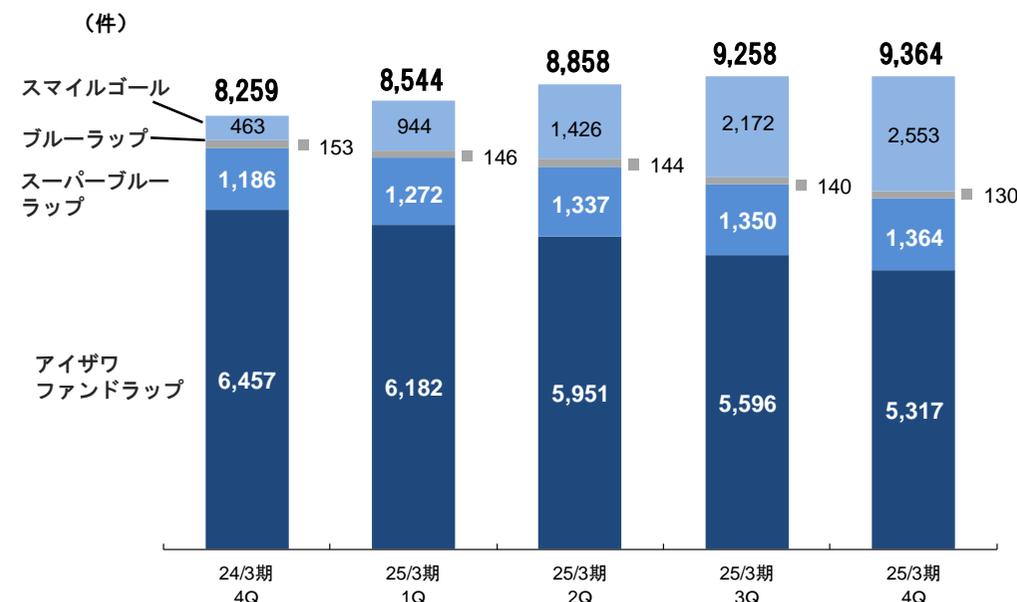
お客様の長期的なライフプランの実現をサポートする、ゴールベースアプローチ型ラップサービス（愛称：スマイルゴール）は、契約資産は183億円、契約件数2,553件となりました（2025年3月末現在）。

2023年8月の販売開始から、契約資産・契約件数は好調に推移しております。

契約資産の推移



契約件数の推移

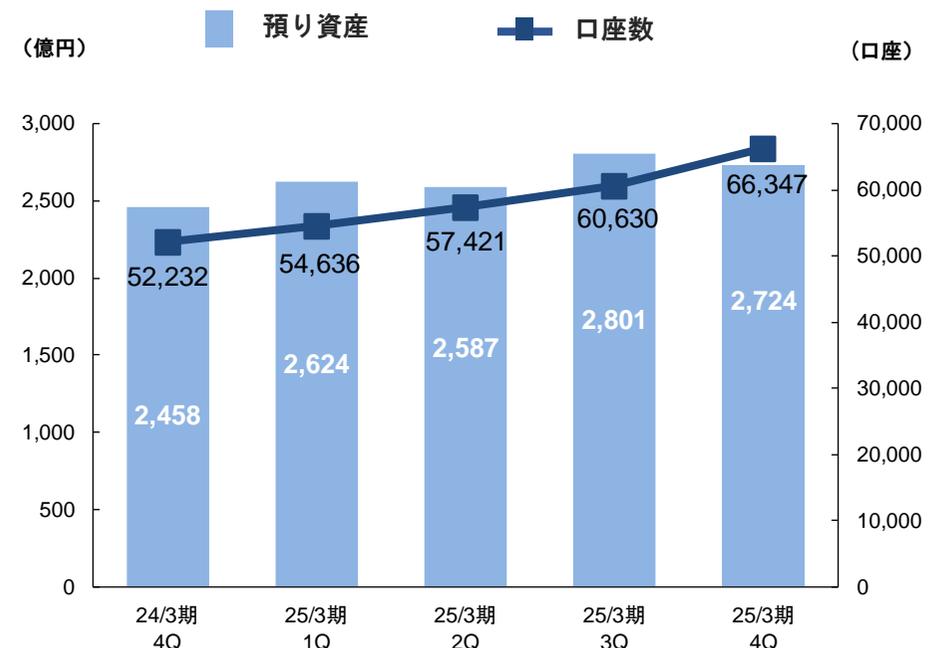
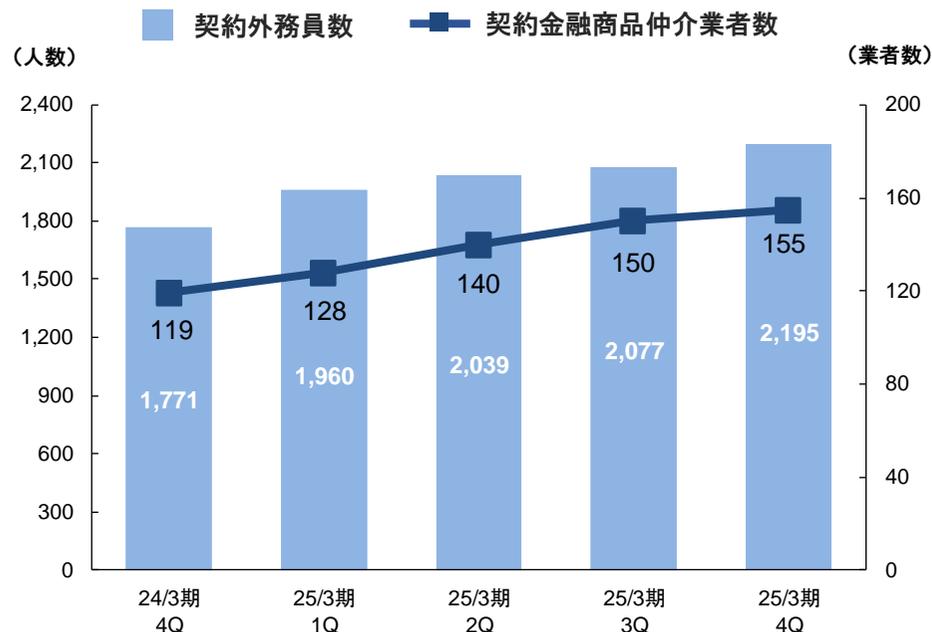


▶ IFAビジネスの推移

	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 4Q	25/3期 3Q比 増減率
契約金融商品仲介業者数 (社)	119	128	140	150	155	3.3%
契約外務員数 (人)	1,771	1,960	2,039	2,077	2,195	5.7%
預り資産 (億円)	2,458	2,624	2,587	2,801	2,724	△2.7%
└ 金融機関連携	396	456	479	539	575	6.7%
└ IFA	2,061	2,168	2,109	2,262	2,149	△5.0%
└ ライフデザインパートナーズ	1,161	1,181	1,088	1,144	1,065	△6.9%
口座数 (口座)	52,232	54,636	57,421	60,630	66,347	9.4%
└ 金融機関連携	27,219	27,275	27,993	29,491	33,486	13.5%
└ IFA	25,013	27,361	29,428	31,139	32,861	5.5%
└ ライフデザインパートナーズ	5,976	5,672	5,802	5,976	6,014	0.6%

▶ ハイライト

当社グループは中期経営計画において、「プラットフォームビジネスの拡大」を基本方針としています。
 IFAの預り資産は前四半期（2025年3月期第3Q）比2.7%減、口座数は同9.4%増となりました。
 金融機関連携（株式会社西京銀行、株式会社佐賀共栄銀行）の預り資産は同6.7%増、口座数は同13.5%増となりました。



▶ ハイライト

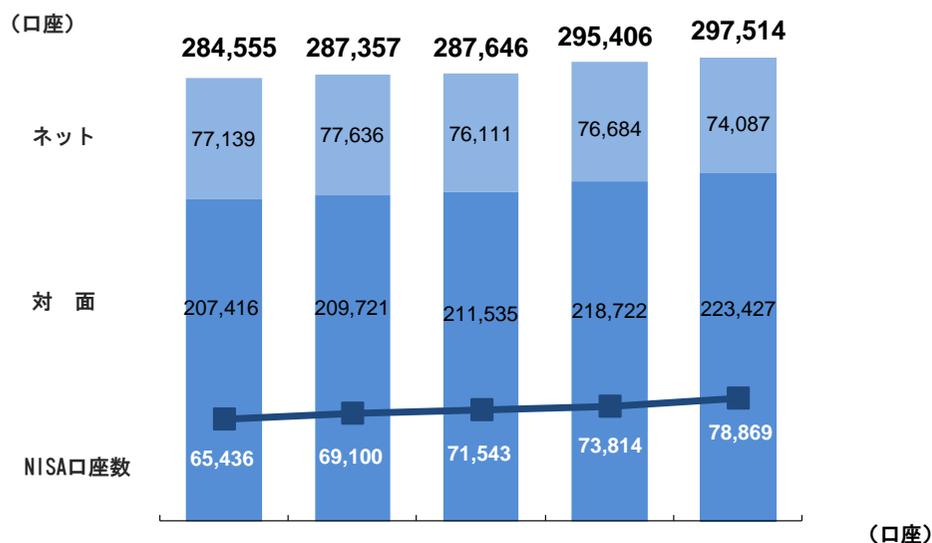
総口座数は、前四半期（2025年3月期第3Q）比0.7%増の297,514口座となりました。

内対面口座の件数が、223,427件で同2.2%増となりました。

新規口座数は、IFAビジネスや金融機関連携を通じたプラットフォームビジネスの拡大により、4,654口座となりました。

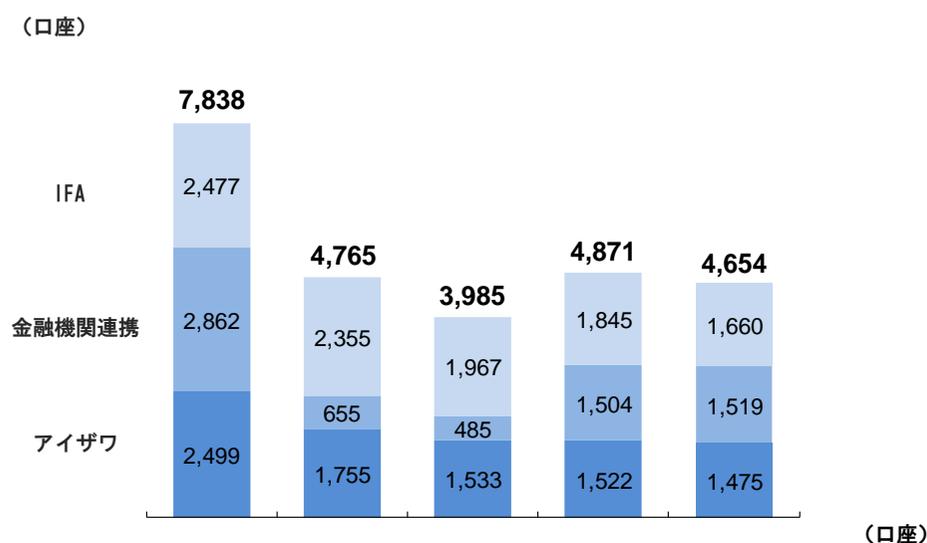
NISA口座数は、同6.8%増の78,869口座となりました。

▶ 総口座数の内訳とNISA口座数の推移



	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 4Q	25/3期 3Q比 増減率
総口座数	284,555	287,357	287,646	295,406	297,514	0.7%
└ 対面	207,416	209,721	211,535	218,722	223,427	2.2%
└ ネット	77,139	77,636	76,111	76,684	74,087	△3.4%
NISA口座数	65,436	69,100	71,543	73,814	78,869	6.8%

▶ 新規口座数の内訳と推移



	24/3期 4Q	25/3期 1Q	25/3期 2Q	25/3期 3Q	25/3期 4Q	25/3期 3Q比 増減率
新規口座数	7,838	4,765	3,985	4,871	4,654	△4.5%
└ アイザワ	2,499	1,755	1,533	1,522	1,475	△3.1%
└ 金融機関連携	2,862	655	485	1,504	1,519	1.0%
└ IFA	2,477	2,355	1,967	1,845	1,660	△10.0%

※ ネット…インターネット取引「ブルートレード」

本資料は、2025年3月期決算の業績等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料は2025年3月末日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

≡ アイザワ証券グループ

AIZAWA SECURITIES GROUP CO., LTD.

商号：アイザワ証券グループ株式会社
本社：東京都港区東新橋1-9-1

お問合せ先

アイザワ証券グループ株式会社 経営企画部

E-MAIL：ir@aizawa-group.jp

URL：https://www.aizawa-group.jp/